

感動・友情・そして未来へ

平成18年度 中学生海外派遣報告

9月29日(金)~10月7日(土)の9日間、姉妹都市であるケンタッキー州ジョージタウン市へ中学生10名と引率者2名の計12名が、友好都市であるインディアナ州プリンストン市・ギブソン郡へ中学生10名と引率者3名の計13名が交流団として派遣されました。ここでは、帰国後の皆さんの感想をご紹介します。(敬称略)

指導課 23局3679



【ジョージタウン市派遣メンバー】

団長「童浦小学校」 白井 庸

「言語活動のこと」「広大なアメリカの風土に直接身を投じたこと」「アメリカの人々と生活を共にしたこと」「生徒たちにとって、日本を知ることや人間性の普遍性について考える貴重な体験になったと思います。」

引率「福江中学校」 鳥居達也

「アメリカの生活習慣に触れることで日本の良さも再確認できたこと」「ホストファミリーや生徒たちの温かい心に触れ、人間的に成長しようとする気持ちになったこと」など、学びある研修になりました。

東部中3年 土佐路亜紀

分からないことや恥をかいたこともたくさんありましたが、文化の違いや考え方の違いを理解することができました。とてもいい体験になりました。

東部中3年 中嶋啓貴

アメリカ人は怖い印象があったけれど、全然違っていました。日本人よりも優しくかったです。貴重な体験ができ、すごく幸せだと心から思います。



東部中3年 川口公宏

家族のようなホストファミリーに出会い、本当につれしく感謝しています。体で感じたアメリカでの生活を、日本の友達にも伝えていきたいです。

東部中3年 笹木麻衣

私はホームステイ中、単語を並べずエスチャーを使い、気持ちを伝えました。伝えたいと心から思えば、必ず通じるのだということを学びました。

野田中3年 山田大輔

僕にとって何よりの楽しみは、アメリカの学校で「スクールバス」に乗ることができるということです。緊張しましたが、とても感謝しました。

野田中3年 渥美小夏

アメリカの学校では、みんな積極的に手を挙げ、先生と生徒が一緒になって議論しながら授業が進んでいました。私もこの様子を見て、積極的に行動するということを学びました。

赤羽根中3年 福井佑樹

アメリカの学校では、みんなが話しかけてきてくれて本当にうれしかったです。片言の英語でもちゃんと聞き取ってくれ、楽しく過ごせました。



赤羽根中3年 藤井千香子

温かい愛情を注いでくれたホストファミリーや周りの人々の優しさは、国境を越えても変わらないと実感しました。短い間でしたが、貴重な経験をすることができました。

泉中3年 前川 潤

アメリカの授業はとても自由です。しかし、自分のやることは自分で決め、自分が理解できなければ、一生懸命に授業を受けていました。日本にはない「責任の上に自由が立つ」という考えがあるのだと思いました。

泉中3年 山内美穂

学校では、みんながよく話しかけてくれました。私が理解するまで、簡単な英語にしてくれたり、紙に書いてくれたりしてとてもうれしかったです。